

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月18日		記入者		連絡先 5636
部 名	保健所	課 名	保健予防課	課長名	原 修
事務事業名	高齢者認知症対策事業				
予算上の事務事業名	高齢者認知症対策事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11410	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第4節 援護を要する人の自立援助				事業開始年度
施策名	第1施策 生活の安定				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	さがみはら健康プラン21			個人、家庭、地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを推進するための施策等について計画するもの。	
計画年次	14	年度～	22		
4 事業形態の区分	窓口・相談 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）
高齢者認知症に関する専門医の相談体制を整備するとともに、在宅の認知症高齢者及びその介護を行っている家族を支援する。				在宅の認知症高齢者及びその介護を行っている家族	
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。	専門医による高齢者認知症の保健福祉、医療に関する定例相談を実施した。				
6 関連・類似事業や他市の状況	県保健所で実施				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	752	720	752	1,033	1,033
一般財源	252	220	252	1,033	1,033
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	500	500	500	0	0
人件費の合計	401	404	403	403	403
事業コスト合計	1,153	1,124	1,155	1,436	1,436
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	専門医による定例相談			対象名称 と単位	相談件数 単位：人
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,153	1,124	1,155	1,436	1,436
対象数	52	53	52	80	85
単位あたり経費(円)	22,173	21,208	22,212	17,950	16,894
前年度比		0.96	1.05	0.81	0.94

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	相談件数	指標式と指標の説明	年間相談件数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	52.0	53.0	52.0		
目標	70.0	70.0	70.0	80.0	85.0
目標達成度（%）	74.3	75.7	74.3		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	相談実施率	指標式と指標の説明	年間相談件数/相談予定数*100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	74.3	75.7	74.3		
目標	80.0	82.5	85.0	87.5	90.0
目標達成度（%）	92.9	91.8	87.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		高齢者福祉課介護予防推進室が実施している事業に対し予算措置を行っており、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 実施主体である高齢者福祉課介護予防推進室と連携する。			14 課題として認識されたこと		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			